

## ●春の野草を食する会 4月12日（土）43人の参加がありました。

事前の打ち合わせ会ではお天気の不安もあり、昨年通りのお米の量で用意しましたが、予想以上に多くの家族、多くの子供たちの参加があって、特にお米が美味しく、炊き立てだったので少しご飯が不足することになってしまいました。難しいものですね。この日採取した新芽はヨモギ、セリ、カラスノエンドウ、加えてスイバやタンポポ、ノイバラ、ギボウシ(ウルイ)、それにレンゲが集められました。そして持ち寄っていただいたものにはタケノコやタカノツメ、タラノメ、ドグダミ、イタドリ(スカンボ)などが提供されました。それぞれ洗って水を切り、準備が出来たところから天ぷらにいたしました。出来上がるのが待ちきれずに皮をむいたイタドリを口にしてしまう等が見られました。普段は全く見向きもしないものですが、食べられると知るとどんどん手に取って見ておられました。



また食事がすんだ頃に行われた理事の有田勉さんの出番としての「有田劇場」が開演されて、手品や参加者たちの参加型クイズに凄い集中がありました。特に初参加された皆さんと子どもたちにとって目の前で行われる動作に釘付けになっていました。そして最後に有田さんの最も得意な腹話術には全参加者がひきつけられて楽しく盛り上がり食する会の幕を閉じました。そ

れぞれ参加者たちは初めての顔合わせをしたばかりでしたが、すっかり仲良しになっておられて、別れて帰宅するのが名残り惜しい雰囲気漂っていました。スタッフの皆さんの心からのおもてなしの心が伝わったのではと思います。自然を大切にして仲間の輪を大きくするのローガンが活かされていることを実感させられました。多くの皆さんがこの素晴らしい里山農園に足を運んで実感されることを強く望んでいます。スタッフとしてお世話いただいた皆さん本当にご苦労様でした。



## ●会誌 58号の準備が進む 発行は4月30日を予定

原稿を早くから募集いたしてきましてのでかなり充実した内容に組みあがってきまして170頁近くに出来上がってきまして。会誌の主たる狙いは3月1日に実施した講演会の報告で「子どもは自然の中で育つ」として京都大学准教授になっておられる浅野悟史先生と桜谷先生の対談はぜひともご覧になっていただきたいものです。里山の会が発足した頃に亀岡から普賢寺で開催した昆虫観察会に参加して以後今の立場に到達されての実体験を語っていただきました。子育て最中の皆様に学んで頂きたい内容となっています。よろしく願いいたします。



### ●第 31 回通常総会が 4 月 29 日(火)祭日に開催決定

2024 年度を振り返り 2025 年度の活動方針を決定する第 31 回通常総会日程が上記の通り決まりました。社員の皆様は万障繰り合わせの上ご出席をお願いいたします。議事内容は ①2024 年度の活動報告の承認 ②2024 年度決算報告の承認 ③2025 年度活動方針の決定 ④2025 年度予算案の決定 ⑤2025 年度から 2026 年度の役員体制の決定 が主な議題であります。特に新役員体制の確立が大問題でありますので慎重審議をよろしくをお願いいたします。

### ●京田辺市文化協会から講師依頼がありました。7 月 26 日

田辺中央公民館で開かれる「京田辺を学ぶ講座」で昨年は甘南備園で活動されている米田先生から京田辺のゴミについての学習会で現状の説明とごみの扱いについてのお話があり、新聞紙を使ってかばんを製作されたとのことでした。年間 4 回ほどの開催で 30 回になるそうです。お茶と農業についてとか、隼人舞の伝承の大切さや所作の意味の説明をされてきたとのことでした。今回、里山の会にご依頼されたのは希少植物や動物の存在とその意義、例えばレンリソウ、ヤマトサンショウウオ、オオムラサキの生態などについての話を期待されているようです。もちろん里山の会の活動についての紹介もさせて頂けると思いますし、中学生の調査研究結果の発表の場にして頂きたいものです。